

周辺から知財人材の確保

(山口大学の事例)



吉田松陰

<p>特許電子出願及び電子データ管理について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業知財実務者による指導で事務補佐員をオペレーターとして養成
<p>先行文献検索体制 (弁理士費用の低減化)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業知財実務者による指導で学生を特許情報検索インストラクターとして養成し各研究室へ派遣
<p>特許情報検索システムの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内教員と山口大発ベンチャー企業による開発 ・ 操作マニュアルを作成し学内に周知 ・ 特許情報検索の授業や講習会, 特許出願の先行文献調査に活用
<p>質の高い知的財産創出体制の構築 (知的財産審査委員会の設置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発明創出時から親身な発明相談 ・ 出願, 審査請求, 年金納付の可否, PCT出願(JST申請)等に係る全ての審査 ・ 審査委員のうち, 5名は学外有識者(企業開発部等のOBで構成)

<p>研究ノートの開発 (知財意識の啓発や共同研究時のトラブル防止)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務機器メーカーと学内教員との共同開発 ・ 共同研究契約時に各研究者へ大学から配布 
<p>全学必修の知的財産教育 人材の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学部1年生(約2,000人)に知財を必修科目として実施(文系・理系を問わず, 卒後進路に活かせる知財人材の育成) ・ 知財教員数不足を学部教員(主に企業出身者)で充当 ・ 専門課程においても, 集中講義等で各学部の専門知識に沿った知財教育を行い, 社会で活躍できる人材を育成
<p>技術移転活動の推進 (山口TLOとの連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業OBの支援及びその個人ネットワークの活用 ・ 学内とTLOのコーディネータの密な連携による技術移転活動の推進 ・ 金融機関等のネットワークを活用した大学シーズと企業ニーズのマッチング(金融関係者と大学関係者のペア行動)
<p>知財活動の暗中模索からの活路</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内閣府から毎年発表される「知的財産推進計画」を参考にし, 学内意見を同方向に導く知財活動を実践 ・ UNITT等の各種シンポジウム等に参加し, 知財知識の研鑽や情報交換等で精神的デッドロックの解消